

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
372 妊産婦支援事業(両親教室)

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	2	母子保健対策の充実

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	平成11年度	~	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長（Tel）	地域保健課	川口 隆弘 (488-5119)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
項目	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
大事業	大事業		母子衛生事業	
	事項		妊娠婦支援事業	

「3つの約束・4つの約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
4つの約束			○	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業内容				
	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容			
両親に子育てに関する学習の機会を提供することにより、父親の育児参加を促す。	妊娠中及び子育て中の夫婦等を対象に、市報わかやまに掲載して参加を募り、子育てに関する学習の機会を提供する。 医師もしくは保健師による講義、ストレッチ、体験コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	市主催の事業は廃止（平成25年度～）。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。妊娠中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体操、コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。妊娠中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体操、コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。妊娠中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体操、コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。妊娠中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体操、コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。妊娠中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体操、コーナー（沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談）を体験してもらう。

2 事業コスト

事業費等	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費										
伸び率（%）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人件費	常勤職員	4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
	非常勤職員	0	0	0	0		0		0	
	小計	4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
千円	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
	その他									
一般財源（税等）										
所要人数	常勤職員	0.54	0.54	0.49	0.49		0.49		0.49	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	参加者数	年度目標値	実績値	年度別達成度					
	単位 人	全体目標値	全体会員登録数	全体会員登録数	200	180			
	年度別達成度	63.0%	96.7%						
	年度目標値								
	実績値								
	単位	全体目標値	全体会員登録数	全体会員登録数	年度別達成度				
成果指標	参加満足度	年度目標値	実績値	年度別達成度	90	100			
	単位 %	全体目標値	全体会員登録数	全体会員登録数	年度別達成度	92.2%	90.0%		
	年度目標値								
	実績値								
	単位	全体目標値	全体会員登録数	全体会員登録数	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	<input type="radio"/>	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	<input type="radio"/>	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	<input type="radio"/>	他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	<input type="radio"/>	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	<input type="radio"/>	あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	<input type="radio"/>	おおむね達成(70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	<input type="radio"/>	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	<input type="radio"/>	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	<input type="radio"/>	負担は求められない

5 今後の方針性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			
	現状維持		○	
	縮小			
	廃止			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	継続的に事業ニーズがある。
「見直し」「改善」案	参加者からの要望も高く、拡充を考えている。